



まつのちょう
松野町

〒798-2192 北宇和郡松野町大字松丸343番地		電話 番号	(0895) 42-1111
地域 指定	過疎 特農	山振 農振	農工 辺地(1) モ定住 拠点都市
		FAX	(0895) 42-1119 (代表)

〈沿革〉

昭30. 3.31 合併 吉野生村・松丸町

〈市のあらまし〉

愛媛県の西南部に位置し、高知県と境を接する山間の町である。町土の84%は森林で、国立公園「滑床溪谷」を有し、広見川・目黒川等の豊かな水は天然うなぎ・川ガニの宝庫である。

その昔、土佐街道の要所で、物流・交易の場として栄えその町並みは今なお保存されている。

桃・茶・梅・ユズや雷漬の特産品づくりが盛んであるほか、地域資源を活かした観光交流事業や県境地域と連携した施策の推進、企業誘致と地場産業の振興に力を注いでいる。

〈由来〉

昭和30年3月18日、松丸町、吉野生村合併促進協議会の委員の投票の結果、数多くの町村名候補の内、松丸町の「松」吉野生村の「野」を一字ずつとって松野町とすることに決まった。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭36年度		
平11年度	増	別館(書庫棟)

〈行政組織〉

(平成27.4.1現在)

議 会 (平成27.4.1現在)

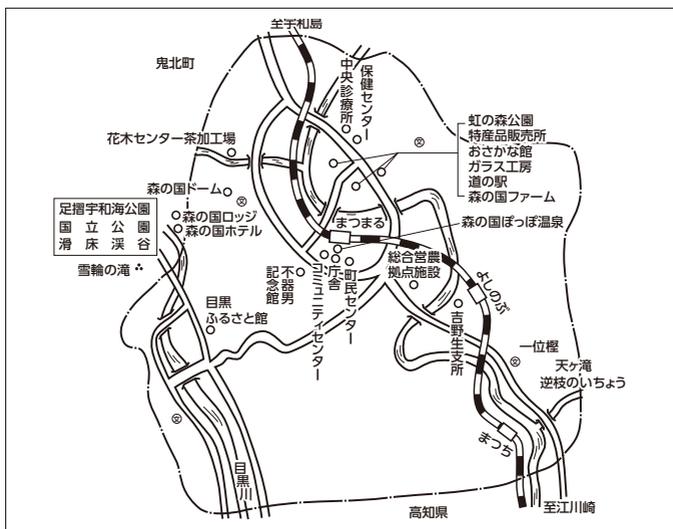
職員数 (平成27.4.1現在)

区 分	名 前	任 期
町 長	坂本 壽明	平成28.11.27

職 長	副 職 長	加 藤 康 幸
議長	板根 喜雄	
議員	(条例定数)	7人
	(現 員)	7人
任期	平成31. 2.24	

普通会計	62人
企業会計	13人
その他会計	7人
計	82人

〈地 図〉



(交通機関) JR予土線松丸駅から徒歩3分

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	60国調	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	27.1.1住基
人 口	(△3.9%) 5,682	(△6.3%) 5,325	(△5.4%) 5,038	(△2.6%) 4,906	(△4.4%) 4,690	(△6.7%) 4,377	4,285
男	2,693	2,495	2,364	2,329	2,211	2,067	2,013
女	2,989	2,830	2,674	2,577	2,479	2,310	2,272
世帯数	1,727	1,673	1,711	1,779	1,815	1,748	2,066

年齢構成 (平22国調)

選挙人名簿
登録者数 (平27.9.2現在)

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上	男	1,691 人
人 口	471 人	2,274 人	1,632 人	女	1,926 人
構成比	10.8 %	52.0 %	37.3 %	計	3,617 人

〈土地利用〉

(平22.2.1現在) (ha. %)

総面積 平26.10.1(km)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 平25.1.1	
			田	畑	樹園地		
98.45	8,367	84.9	392	274	40	78	1.7

北宇和郡

〈産 業〉 産業構造

(百万円・人)

区 分	総生産額(平24年度)		就業人口(平22国調)	
第1次	417	5.0 %	455	22.5 %
第2次	1,559	18.6 %	367	18.1 %
第3次	6,386	76.4 %	1,199	59.2 %
計	8,362	100.0 %	2,026	100.0 %

(注)「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業 (平25年)

(百万円)

所得 (平24年度)

品 名	製造品出荷額等
※各品名における製造品出荷額等は、1又は2の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿とした。	

1人当たり 市町民所得	千円 1,851
----------------	-------------

平成26年度の主な建設事業

(百万円)

今後の主な建設事業

(百万円)

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
がけ崩れ防災対策事業	82	がけ崩れ防災対策事業	62
町道改良事業	101	町道改良事業	208
広域基幹林道整備事業	9	広域基幹林道整備事業	17
河後森域跡環境整備事業	17	河後森域跡環境整備事業	7
町営住宅改修事業	10	町営住宅改修事業	10
中山間地域総合整備事業	17	中山間地域総合整備事業	23
農林公社施設整備事業	35	農林公社施設改修事業	13
地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金	35	携帯電話等エリア整備事業	42
虹の森公園改修事業	122	森の国ぼっほ温泉大規模改修事業	167
虹の森公園急速充電器設置事業	6	県境休憩所トイレ整備事業	40
中学校屋内運動場耐震補強事業	29	じん芥収集車購入事業	8
中学校屋外便所・倉庫建設事業	9	消防車庫改築事業費	6
目黒消防車庫建設事業	5	西の川地区農道整備事業	7

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡	国立公園「滑床渓谷」 伊井公園 天ヶ滝 不器男記念館 国指定史跡河後森城跡 国指定重要文化財目黒山形模型 一位檜 逆枝のイチョウ 森の国ほっほ温泉
観光施設	四国ほけ封じ三十三観音霊場 虹の森公園(四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、森の国ファーム、特産品販売所、レストラン遊鶴羽) 森の国ロッジ、森の国ホテル
祭り 催し物	桃源郷マラソン大会(4月上旬) 桃まつり(7月上～中旬) 滑床山開き(4月下旬) 滑床まつり(7～8月中旬) 森の国の夏まつり(8月中) 秋まつり(10月第4日曜日) 文化祭(11月上旬) 不器男忌俳句大会(2月下旬) ウォーキングアドベンチャー(冬期) 予土うまいもの合戦(5月、7月、11月) 森の国戦国武者伝走(11月)
公営 宿泊施設	森の国ホテル 森の国ロッジ

〈名物・特産品〉

天然うなぎ かに 桃 梅 茶 ユズ ガラス製品 森の国ブランド認定品・柚子ジャム、桃ジャム、雪輪あられ、松野町産南高梅、ピーチワイン「なめとこ」、雷雷、雷漬、生芋こんにゃく、手もみ茶、梅シロップ、梅そうめん
--

〈主な公共施設〉

町民センター 地区公民館 小学校(3) 中学校 保育所(2) 診療所 保健センター 隣保館(2) 森の国ホテル 森の国ロッジ 健康増進センター 目黒基幹集落センター スポーツ広場(クローカー場) コミュニティーセンター(屋内運動場) 不器男記念館 目黒ふるさと館 吉野生山村広場 スポーツ交流センター 吉野生交流促進センター 虹の森公園(四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、森の国ファーム、特産品販売所、レストラン遊鶴羽) 育苗施設、総合営農指導拠点施設、学校共同調理場、森の国ドーム(屋内多目的広場) 梅処理加工施設、ふれあい交流館(森の国ほっほ温泉・観光福祉・松丸駅舎複合施設)
--

〈主要課題〉

基本施策方針 『「まち・ひと・しごと」ふるさと創生の挑戦 愛顔と希望と活力あふれる森の国松野町を目指して』 基本方針 森の国輝ける未来づくり、誇りと愛着の持てる協働のまちづくり 重点施策目標 1. 森の国創生による定住・移住促進、雇用創出、所得向上、経済活性化対策 2. 保健福祉の充実による健康長寿の町づくり 3. 定住環境整備による安全安心、快適、住みよい町づくり 4. 地域に根差した心豊かな教育と歴史文化の創造 5. 変革の時代に対応した行財政基盤づくり

〈地域づくりの事業等〉

・ふる里まつりの会 都会の人々を対象に年会費15,000円で会員を募集し、特産品の直送(年5回)を行っている。 ・滑床まつり 町内の若者が中心となって、滑床をバックにくり広げられるユニークなイベントで、ファミリーアドベンチャー・モデル撮影会、滑床沢歩き、森の国の夏祭り等を実施。 ・不器男の里記念事業 不器男の里俳句大会、少年俳句大会、俳句の小径、河後森城めぐり、「松野の歴史・文化」を考える集い ・老人福祉施設整備事業 総合的なシルバー・コミュニティゾーンを設定し、年次計画的に老人福祉施設の整備を図る。 ・河後森城跡史跡公園整備事業 国指定史跡河後森城跡を歴史・自然体験学習や憩いの場などに活用するため、発掘調査、生活環境保全整備、各種施設整備等を行う。 ・森の国まつの応援団 本町出身の都市在住者により応援団を結成し、情報交換や町政に対する意見、提言を行う。 ・戦国絵巻のまちづくりプロジェクト 予土県境地域であるが故の地域資源を活用した新たな観光集客力向上に資する取組 ・県境がNICE!!プロジェクト 県境地域であるが故に培われた文化を新たな地域ブランドとして発信し、魅力ある地域のPRをする取組
--

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(平成27.4.1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記 年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(株)	松野町農林公社	平10.4.8	45,000 (96.9)	野菜苗、花壇苗の生産・供給 農作業等受委託 新規就農者育成のための研修

〈総合計画〉

基 本 構 想			基 本 計 画
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
第4次松野町総合計画	平17.11.25	平17～平26年度	同左

〈行政機構〉

(平成27.4.1現在)

